

県内最大規模 メガソーラー発電に関する協定締結



(株)大林組
白石達 代表取締役社長

蒲島郁夫 熊本県知事

竹崎一成 芦北町長

コア・テック (株)
諸岡泰男 代表取締役社長

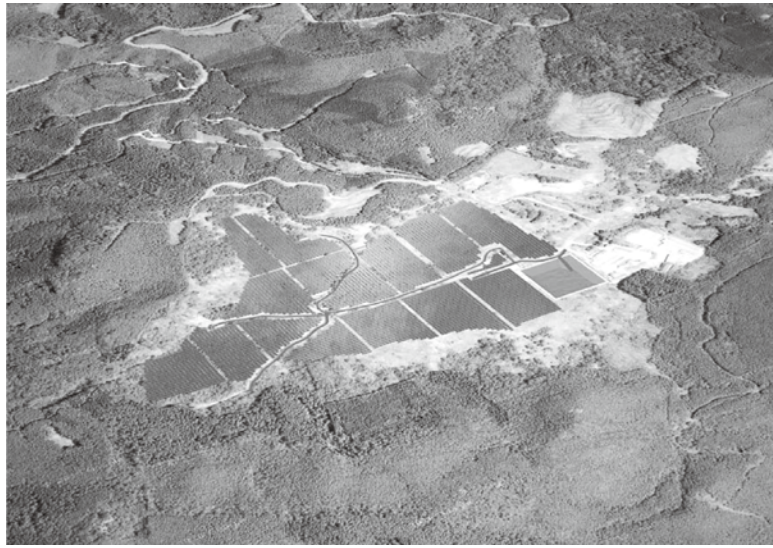
◎もくじ (2012年8月号)

- 2 町有地2カ所にメガソーラー
- 4 7月12日豪雨災害
- 6 ビーチバレー in くまもと
／女島活力推進センター落成
- 7 芦北支部消防操法大会
／芦北町童話発表会

- 8 まちのわだい
- 10 ALT 帰国のあいさつ
／町民体育祭結果
- 11 英国派遣事業報告
- 12 県民体育祭選手名簿
- 14 保健センターだより

- 15 芦北に残る文化遺産
／景さんの芦北チョアチョア記
- 16 お知らせ
- 18 警察署／消防署
- 19 書道・短歌／出生・おくやみ
- 20 観月会／美術館だより／湯の香ぎやらりー

メガソーラー施設概要



▲設置予想図(事業者提供)

矢城牧場跡地

事業者：(株)大林組と(株)松下組の2社連合
太陽電池出力：約15メガワット（1万5千キロワット）
事業用地面積：約24.8ヘクタール
総事業費：約45億円
発電開始予定時期：平成25年3月（1期事業）
平成26年3月（2期事業）



(株)大林組
白石 達 代表取締役社長

事業者を募集され、多くの候補者の中から選定してもらい、身の引き締まる思いです。24.8ヘクタールの広大な土地を可能な限り有効に活用し、環境に十分配慮した対策を講じ、安心安全な太陽光発電設備を設置します。地元の方々と協力し合い、地域の振興、太陽光発電の普及啓発、環境学習の拠点などに貢献できるよう取り組んでいきます。私どもの持っている技術の全てを結集し、技術管理はもとより防災対策、安全管理に万全を期し取り組んでまいります。



コア・テック(株)
諸岡 泰男 代表取締役社長

数多くの提案の中から選んでいただきありがとうございます。私どもは技術コンサルタントの会社ですが、メガソーラーの建設に伴い、企画から運営にいたるまでプロジェクトを推進し、芦北町の発展にお役に立てるように社員一同頑張っていきます。自然エネルギーを有効に利用して社会や経済の発展に寄与することが我々の役目です。女島の土地で最大限有効な太陽光システムを全力をあげて構築していきます。



▲女島埋立地の全景

女島埋立地

事業者：コア・テック(株)とサンエジソンジャパン(株)の2社連合
太陽電池出力：約8メガワット（8千キロワット）
事業用地面積：約9.5ヘクタール
総事業費：約30億円
発電開始予定時期：平成25年9月



町有地2カ所に 75億円の設備投資

7月24日、県庁で調印式

東日本大震災とそれによって起きた原子力発電所事故を受け、メガソーラー（大規模太陽光発電所）の建設計画が全国で急速に進んでいます。そうした中、芦北町でも町有地2カ所にメガソーラーが建設されることとなりました。

町の候補地2カ所とも誘致

熊本県は、地球規模で問題となっているエネルギーの安定供給対策や地球温暖化対策に積極的に取り組むため、メガソーラーの候補地を公表し、事業者や関係機関との調整を行ってきました。

芦北町では、湯浦高岡地区の矢城牧場跡地と女島埋立地の2カ所の町有地を候補として、昨年12月に県のホームページで公表していました。その後、設置を希望する業者からの提案を受け、町の選定委員会による業者の選定を経て、建設する運びとなったことを7月4日、役場において発表しました。ゼネコン大手の大林組（東京）と芦北町の松下組の連合体は、矢城牧場跡地に総事業費約45億円をかけ、県内最大規模の最大出力1万5千キロワットのメガソーラーを建設。女島埋立地には、コンサルタント会社のコア・テック（東京）とサンエジソンジャパン（東京）の連合体が総事業費約30億円で最大

出力8千キロワットのメガソーラーを建設します。

発電量は県内で最大規模

芦北町と熊本県、建設事業者の三者で7月24日、メガソーラー発電事業に関する協定調印式が行われました。式には竹崎町長、蒲島県知事、大林組の白石達社長、コア・テックの諸岡泰男社長が出席し調印しました。矢城と女島、両方合わせた推定発電電力量は、芦北町の全世帯約7,600世帯の約9割の年間電力量に匹敵する規模となります。

※メガソーラーとは、出力が1メガワット（1,000キロワット）以上の規模の太陽光発電施設のことです。



▲7月4日の記者発表で県内最大規模のメガソーラー誘致を発表しました



▲白木 町道屋敷野線決壊



▲大野温泉センター前道路冠水



▲天月 町道小口線決壊



▲道川内西 佐敷小前道路冠水



▲天月 河川決壊により水田への土砂流入



▲上白木 金ヶ本橋崩落



▲吉尾 県道球磨田浦線決壊



▲簞瀬 県道球磨田浦線土砂崩れのため通行止め



▲大尼田 ハウス施設被災



7月12日 記録的豪雨

冠水、決壊、土砂崩れなど相次ぐ

▲吉尾 市居原区 河川増水のため床上浸水、道路崩壊など甚大な被害が発生

7月12日午前7時前、「これまで経験したことがないような大雨になっています。厳重に警戒してください」と気象庁が発表した九州北部豪雨は、熊本県や大分県を中心に甚大な被害をもたらしました。

芦北町も甚大な被害

芦北町では7月12日の早朝から夜中にかけて激しい雨に見舞われ、吉尾地区では1時間あたりの最大降水量が121ミリを記録。24時間の降水量も同地区で414ミリと記録的な雨となりました。芦北町の年間平均降水量は約2000ミリで、年間降水量の5分の1がたった一日で降ったことになりました。

大雨の影響で道路が冠水し、道路の通行止めや河川の増水などによる床上・床下浸水も発生。町内各地で自主避難された人は確認している分で124人に上りました。また、河川の決壊や土砂災害、道路の崩壊など町内の至る所に大きな爪痕を残しました。

被災された町民の皆さんにお見舞い申し上げます。

被害状況（7月30日現在）

- 床上浸水 39棟（非住家含む）
- 床下浸水 112棟（非住家含む）
- 河川 126カ所
- 道路・橋りょう 67カ所
- 家屋裏山崩れなど 18カ所
- 林道など 43カ所
- 山地崩壊など 6カ所
- 農地 108カ所
- 農道・用排水路など 35カ所
- 農作物など 3・65ha
- 自主避難 10地区124人

7月12日の
1日の降水量

地区	降水量
田浦	339mm
吉尾	414.5mm
佐敷	302.5mm
湯浦	311mm

7月12日の
各地区の1時間あたりの最大降水量

地区	降水量	時間帯
田浦	63mm	午前8時～9時
吉尾	121.5mm	午前10時～11時
佐敷	93.5mm	午前10時～11時
湯浦	59mm	午後8時～9時

被害総額 約5億4千万円

（7月30日現在）

芦北のビーチで熱戦

芦北の夏の到来を象徴するイベント「ビーチバレーinくまもと」が7月7日、8日の2日間、鶴ヶ浜海水浴場とマリナーパークビーチで行われました。今回で25回目の開催です。大会には249チーム約千人がエントリし、2日間にわたり砂浜の上で歓声を上げ熱戦を繰り広げました。

1日目は早朝からの強い雨と雷でどうなることかと心配されましたが開会式前に雨は止み、予定どおり予選を行うことができました。2日目は快晴に恵まれ、澄みきった真つ青な空の下で、白熱したプレーあり、笑い声ありのにぎやかな盛り上がりを見せていました。試合後は、透明度が高い芦北の海を泳いで楽しんでる選手の姿も多く見られました。



女島にもやい直しの拠点

ゆめもやい

昨年12月から施工していた女島活力推進センターが完成し、7月24日、落成式が行われました。同センターは、水俣病被害者や地域住民の交流、水俣病や環境問題などに関連した情報発信の活動拠点として多目的スペース、展示スペース、販売所などを備えた施設



▲センターの愛称「ゆめ もやい」の除幕式

です。

式では、センターの愛称の除幕式があり、葦北鉄砲隊の号砲の合図で関係者が一斉に手綱を引くと「ゆめもやい」とやわらかな字体で表現された愛称が参加者約100人に披露されました。

この施設は、地元の女島開発委員会が指定管理者として管理運営を行っていきます。地元を代表して女島開発委員会の福浦武義会長は「たくさんの方のおかげでもやい直しの拠点施設がようやく完成しました。地元で管理し、利用するこの施設で住民手づくりのもやい直しや健康増進、交流を行い、真の地域再生の拠点とすることを誓います」と謝辞を述べました。



▲センター内には昭和20年代の女島地区を写した写真を展示してあります

消防の操作技術を競う

熊本県消防協会芦北支部消防ポンプ操作大会が7月22日、町営岩崎グラウンド駐車場で開催されました。大会には、芦北町、津奈木町から6チームが参加。本町からは、ポンプ車の部に機動分団（芦北町役場）、小型ポンプの部に第2分団（田浦1、4、横居木）と第7分団（丸山、米田、高岡、古石、豊岡、大川内）が出場しました。

1位と2位は点差が1点以内の接戦でしたが、両部門とも芦北町の代表が制しました。ポンプ車の部で優勝した機動分団と小型ポンプの部で優勝した第7分団は、8月26日に天草市で行われる県大会に出場します。



▶芦北町第7分団の操法



芦北町第7分団（左から石本栄介、永田正蔵、森内裕喜、橋口隆介）



芦北町機動分団（左から岩間賢二、漆山大輔、橋本仁志、大矢聡、宮本武蔵）

【成績】（本町関係のみ・敬称略）

◆ポンプ車の部

優勝 芦北町機動分団

◆小型ポンプの部

優勝 芦北町第7分団

3位 芦北町第2分団

感情豊かに物語を表現

夏休み恒例の芦北町童話発表会が7月25日、社会教育センターで開催されました。発表会には、町内の小学校から各学年の代表34人が出場しました。出場者は物語の中の登場人物になりきり、感情豊かに発表していました。審査員長を務めた溝部健一さんが「入賞された皆さんおめでとうございます。表彰されなかった人はわずかの差で入賞できませんでした。今日から来年の大会に向けて本をたくさん読んで、本選びから頑張ってください」と話しました。

また、各学年の優秀賞者は8月6日に水俣市立公民館で行われた水俣・



▲入賞者全員で記念撮影

芦北地区童話発表会に出場しました。町童話発表会の入賞者は、次のとおりです。（敬称略）

◇1年

優秀賞 中原 琉成（田浦）

入賞 橋口 華音（内野）

入賞 田中 茉音（佐敷）

◇2年

優秀賞 溝上 実知（内野）

入賞 松崎 陽向（佐敷）

入賞 橋本 呼幸（湯浦）

◇3年

優秀賞 大崎 匠（湯浦）

入賞 岩田 瑞菜（田浦）

入賞 出口 結理奈（内野）

◇4年

優秀賞 窪 星（田浦）

入賞 山内 怜花（内野）

入賞 畑野 怜司（吉尾）

◇5年

優秀賞 赤星 翔月（湯浦）

入賞 尾川 航仁（内野）

入賞 溝上 雄仁（佐敷）

◇6年

優秀賞 桑本 七海（佐敷）

入賞 緒方 智花（大野）

入賞 今脇 ともか（湯浦）



▲発表する児童



園児たちの小さな手でだんごを丸める作業は一苦労だったようです

七夕だんごづくり

中国では健康で病気にかからないように、また豊作を願い、七夕に策餅（さくべい）というひも状の形をしたお菓子を作って食べているそうです。

七夕のこうした風習をもとに、子どもたちの健やかな成長を願うため、大野保育所で7月6日、芦北町食生活改善推進委員が園児36人と一緒に七夕だんごづくりを行いました。園児たちは、小麦粉をたっぶり両手に付け、だんごを丸める作業に一生懸命取り組みました。だんごの生地が手にくっついたり、うまく丸まらなかったり四苦八苦する子どもたちに推進委員や先生たちが丁寧に指導していました。七夕だんごは3時のおやつの時間においしくいただきました。

自分の芸でふるさとへ恩返し

愛知県在住の松田保さんが故郷である芦北町への恩返しとして7月3日、4日に湯浦保育所や田浦保育所、大野保育所、養護老人ホーム有隣を訪問し、腹話術や手品、相撲甚句などを披露しました。

松田さんは、佐敷の宮浦出身で愛知県警に勤務していました。駐在所勤務の時にボランティアで腹話術や手品などをほぼ独学で習得しました。昨年退職したのを機に生まれ故郷の芦北町で何か恩返しをしたいと考え、今回の活動となりました。松田さんは「まだ本調子ではなかったが保育所や老人ホームで喜んでもらえてよかった。呼んでもらえればまた来たい」と話してくれました。



老人ホームで人形を持ち腹話術を披露する松田さん

大野温泉センターが「道の駅」になりました

3月に「道の駅」に登録され、道路の看板の整備などを進めていた大野温泉センターが7月20日に開駅し、記念式典が行われました。田浦祝い唄保存会がお祝いの時に歌う「祝いめでた」を披露し、葦北鉄砲隊は祝砲をあげ開駅式がスタート。その後、竹崎町長や4月1日から大野温泉センターの指定管理者となったJAあしきたの高峰博美代表理事組合長など関係者がくす玉を割り、出席した約100人と一緒に開駅を祝いました。温泉やグラウンドゴルフ場を併設した道の駅は九州でも珍しく、芦北の魅力を発信する施設として期待されます。



大野温泉センター玄関前でくす玉を割り新たな門出を祝いました

清掃ボランティア

芦北町は、町内の建設業各社と清掃ボランティア活動に関する協定を結んでおり、本協定に基づき、道路や海岸の清掃活動が実施されています。

昨年度は4社によって、広域農道と林道の除草作業や海岸のごみ拾いが行われました。年々、清掃ボランティア活動に対する意識も高まってきており、本年度も新たに協定を結ぶなど、協力業者も増加しています。

今後も定期的に清掃活動が実施される予定で、美しく住みよい町づくりに貢献しています。

【平成23年度活動企業】

(株)佐藤産業、(株)松下組、三和建設(株)
(株)橋新建設



海岸で漂流物や空き缶、ビニールなどのごみを集めました

カレー三昧 芦北伽哩(カレー)街道始まる

7月14日から芦北町内を中心に始まった芦北伽哩街道のオープニングイベントとして、同日、大試食会をファーマーズマーケット「でこぼん」で開催しました。一口サイズの小皿を各店舗50皿ずつ準備し、来場者に振る舞いました。主催者の実行委員長 積一也さんは「今までも試食会は行っていたけれど、参加店だけが試食するものだった。こうやって直接お客さんに食べてもらう方式をずっとやりたかった。ここで試食をした後、今後は各店舗で食べてもらいたい」と話してくれました。この芦北伽哩街道は芦北水俣地域の17店舗で8月31日まで開催されます。皆さんは何店舗制覇できますか。



試食をする来場者。試食でも全店分食べればお腹いっぱい

自転車競技で全国大会出場

7月7日に益城町総合体育館で第46回交通安全子供自転車熊本県大会が開催されました。芦北町からは6月に町の大会で優勝した内野小が出場し、2位を大きく引き離して優勝しました。丁靖洋君は「県大会ではとても緊張してドキドキしたけど、練習で頑張った成果が出せてよかったです」と優勝した感想を話してくれました。「練習の過程で学んだことを勉強にも生かしてもらいたい。また、学んだことを内野小の子どもたちにも伝えてほしい」と内野小の松原恵治校長。内野小は、8月1日に東京ビックサイトで開催された全国大会に県代表として出場しましたが、惜しくも入賞はできませんでした。



左から山内愛里、丁靖洋、村上柊大、尾川航、岩下睦、池田公介教頭、洲上綾香（敬称略）

A・L・Tの先生 ありがとうございました

平成19年10月に来町したリチャード先生と平成22年8月に来町したリア先生が、芦北町でのA・L・T（英語指導助手）の活動を終えることとなりました。2人は学校での勤務だけでなくイングリッシュサマーキャンプや町民講座の英会話教室などでの講師や町国際交流まつりにも積極的に参加し、町民の皆さんと交流をできました。

リチャード ボウ先生



私は5年間、ここ芦北町で生活していました。しかし、とても残念なことにとうとうこの生活が終わる時が来てしまいました。芦北での生活はとても早く過ぎてしまったように感じます。英語のことわざがあります。"Time waits for no man."意味

平成24年度 英国派遣事業報告

平成8年度に始まった英国派遣事業は、今回で14回目を迎えました。本年度は澁谷百鍊さん（芦北町教育委員長）を団長に5人が6月15日から22日までの日程で英国を訪問し、学校視察や現地の人と交流を深めました。

「英国派遣事業に参加して」

澁谷 百鍊

この度、私たち派遣団5人は、芦北町のご高配により英国派遣事業に参加させていただきました。「百聞



▲左から澁谷百鍊（芦北町教育委員長）、元山秀志（芦北町議会議員）、農頭圭子（日本舞踊「花扇会」代表）、福田貴司（議会事務局次長）、西田佳代（芦北町立佐敷中学校講師）

は、「時間は止まらない（いつも進んでいる）」です。私は5年間もの長い期間、いい経験をさせてもらった芦北町にとっても感謝しています。もつと芦北町で活動をしたかったのですが、私の人生において次のステップに踏み出そうと決心しました。

実は、芦北は私が初めて日本で訪れた町です。私は、芦北町の人たちは本当に素晴らしい心の持ち主の人たちがたくさんいると思います。たぶん、お店とかはあまり多くないですが、人間関係はすごいと思います。

芦北町で活動した期間中に会った私の学校の先生たち、児童・生徒たち、友達、町の至る所で出会った人たちは私にとってとても大切な人であり私の財産です。

私は芦北町を忘れません。芦北町の皆さん、心からありがとうございます。

リアブルックス先生



芦北の皆さん、こんにちは。とうとう芦北を離れる日が来てしまいました。日本に来る前にたくさん日本の話を聞いたり、写真をみたりしましたが、日本の生活にはあまり期待がありませんでした。でも、この2年間、この芦北町に住んで仕事をし

て、友達ができて、芦北の生活は普段の生活になりました。私の田浦のうちは"my home"になりました。私とよく遊んだり、話したりしてくれた人たちは"my friend"になりました。私にやさしくしてくださった同僚や児童・生徒は"my work (財産)"になりました。

だから芦北から離れるのはとても寂しいです。私は今度ハンガリーで英語を教えます。この国の文化や言葉は私の国の文化と全然違うから、今からちよっと緊張しています。だけど、私は芦北で学んだことを思い出しながら次の仕事でも頑張りたいと思います。

私はこの町の親切な人ときれいな景色やおいしい食べ物をすごく楽しみました。このたくさんいい思い出は絶対に忘れません。

芦北に住んでいた間、色々なことをたくさんの人に手伝っていたきました。その人たちに心から感謝します。2年間本当にお世話になりました。

ツリレー、綱引き、子どもたちのメイポールダンス、成人のモリスダンスなど催し物は盛りだくさん。全てに人々の喜びや楽しみが溢れていて活気を感じました。

ルイス地方議会訪問

ルイス地方議会（人口約9万5千人、議員数41人）の議長から議会の歴史、議会棟にまつわる話、議会の構成など興味深い説明を聞くことができました。



▲ルイス地方議会の議長に案内してもらい、ナポレオン戦争時代の防御砦を視察

ミレー校訪問

湯浦中の交流相手であるミレー校を訪問し、日本語授業などの参観をさせていただきました。特に日本語を専攻する生徒数人との懇談では、日本語の流暢さに舌を巻きました。

平成24年度町民体育祭結果 【クレイ射撃】

●開催日 7月1日(日)

●場所 町立湯浦温泉射撃場

◎団体

優勝 佐敷体協

2位 湯浦体協

3位 大東体協

◎個人

優勝 野口行夫（佐敷）

2位 原田信房（湯浦）

3位 兼元高士（佐敷）

【バドミントン大会】

●開催日 7月1日(日)

●場所 しろやまスカイドーム

優勝 佐敷体協

2位 湯浦体協

3位 田浦体協

4位 大東体協

【ボウリング】

●開催日 7月8日(日)

●場所 芦北ボウル

◎団体

優勝 佐敷体協A

2位 湯浦体協A

3位 大東体協B

◎個人

優勝 堀田浩一（佐敷）

2位 木野輝雄（大東）

3位 田代忍（大東）

私たちの英語がこれに相応しているとはなかなか言い切れず、これからの英語教育や英国理解のなかでもっと努力の必要性を感じました。



▲日本語専攻の生徒と懇談会。流暢な日本語での自己紹介に驚きました

最後になりますが、私たちが経験し、習得したものは、私たちの中にのみ留まるべきではないことは当然であります。どうか、今回だけでなくこの派遣事業の成果や内容をより多くの町民の皆様へ伝えて、更に多くのご理解とご協力をいただくことができれば幸いです。英国から芦北への派遣受け入れの要請があれば、今回の派遣で経験した交流と同等以上の交流ができる下地づくりをなすべく努力したいところです。

第67回熊本県民体育祭 頑張れ葦北郡選手団

今年の県民体育祭は「新たな挑戦 新たな感動 菊池県体」を入口ーガンに菊池郡市を会場に9月15日、16日に開催されます。23種目の競技に葦北郡代表として、芦北町の選手が出场します。

皆さんの応援をよろしく願いします。(選手名簿は、8月2日現在のものです。)

選手団名簿(敬称略)

(町内関係者のみ掲載)

役員

団長 竹崎一成
副団長 水口宣之・寺本修一
総監督 藤井哲郎

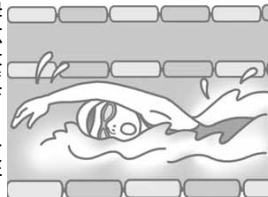
陸上競技

▼男子 大島博文・立丸翼・溝下翔・嶋田昇・橋口貴文・一田貴臣・森山泰宜・瀧山敬三・井川大介・吉田英二・宮島誠一・野畑光晴・岡田謙治・告吉弘・木野輝雄・木福勝則・馬場馨・綱田幸侑・原口伸一・大崎秀俊
▼女子 酒井かおり・原田絵理咲・瀧井祥恵・嶋田愛美・江口あさみ



水泳

平山裕美・木下奈美・戸田裕子・平野園美・宮田すえ子



▼監督 馬場勲(選手兼)
▼男子 川口央・齊藤満・村崎博・平井秀二郎・宮本英・米村彰芳・塚本壽・森正・本村伸一・柳瀬新吾・釜好宏・藤井康博・小崎誠吾・平生勝治・道園浩一・今村安則・林潤二・梅林繁幸・大崎寿次・川添和哉・草野正明・松本武昭・横井誠・宮下浩二・今村郁己・宮本武蔵・森下充敏・永里壽朗・清水巧・釜貴宏・山内一平・佐々木優志・森本紘史・福田竜之介・菊川浩平・月俣忠康

軟式野球

▼監督 才保親哉
▼選手 石田幸満・横坂和彦・中川文博・宮石義史・橋本守・富永光輝・▼女子 小野田桂子・荒木睦子・佐藤紀子・福田由佳・梅林昌子・久保三枝子・園田真由・柳瀬友紀・寺川由莉・藤井かなえ・岡本祐香里・亀山恵理華・山田春加

バスケットボール

▼男子 小崎巧隆・川添勇人・白坂拓也・小崎史雄・荒川晃・山口秀宣・本田健士郎・湯治栄伸
▼女子 永野有香・中村詩織・川野奈保・梶和子・鮫島いずみ



ハンドボール

▼男子監督 岩間賢二(選手兼)
▼男子 上野雄也・上野友晴・橋本仁志・橋本雄一郎・遠山淳二・山下博章・田中英之・山川茂夫・橋本伸介・岩間崇浩・前川明宏

サッカー

▼監督 小川宏達
▼選手 竹田将・田中 和也・鋤田晃平・江口佑人・片山勇一・池田高太・野口健・木村直哉・下村仁・野口慶・宮崎裕樹・野口卓也

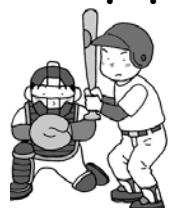


柔道

▼監督 板床幸也

ソフトボール

永野和也・田平俊一・川畑雅史・田平昭二・橋本勲



ソフトテニス

▼女子監督 早稲田欣治
▼女子 早稲田美香・嶋本洋子・川元孝美・池田由美・平野直江・福井利恵・川添方美・元山美樹・迫脇澄恵・作田照美・桑田優子・白木裕香里・鷹野あい・楠本香織・石本恵



卓球

▼監督 元山正徳(選手兼)
▼男子 坂本一彦・橋本晃一・田中総一郎・坂本祐介・鶴山善信・上村五十記・立場広光・向大野宗宏
▼女子 上村徳子・才新美穂・吉田早百合



空手道

▼監督 金辰信
▼選手 林田勇・坂田宏樹・綱田圭吾・綱田裕佑・竹林公也・染野隼人・慶田浩也



アーチェリー

▼監督 告下祐樹
▼選手 告畑一彦・楠原清照・田代忍・鶴田裕之・篠原茂樹



クレイ射撃

▼監督 松田修二
▼選手 兼元高士・野口行夫・宮本忍・原田信房



テニス

▼監督 浪本巖(選手兼)
▼男子 河添博文・吉津慶勝・清田和弘・福田正則・野村健一郎・吉田典博・島田守・吉原慎一・堀田輝彦
▼女子 佐竹弘美・立岡清子・吉津美輪子・梅田文・福山亜紀

バドミントン

▼女子 上野純子・倉間幸子・元山貴美香・野田祐李香

▼男子監督 濱田治孝(選手兼)
▼男子 迫本秀記・杉村廣伸・宮本義文・鶴山秀生・笠本優一・上田幸秀・永田正蔵・嶋中徹・日野智之・森内裕喜・木下寿博・木下貴公
▼女子監督 引地恵(選手兼)
▼女子 川上利恵子・竹永照子・木下恵・山口里葉・嶋中綾夏・松岡瑠衣・山口絵里子・木下ひで香



バレーボール

▼男子監督 坂本司
▼男子 平松大輔・松下祐樹・木本隆博・宮本智和・横山貴之・元村啓輔・勝田慧・木福翔吾・木福貴紀・永野恭一・岡山裕平
▼女子監督 白川信一
▼女子 橋本沙織・成田五月・城戸さおり・西理恵・木福奈央美・嶋本成美・洲上瑠奈・寺本聖香・松村春菜



ゲートボール

▼男子監督 才原正治
▼男子 立岡静夫・桑見武盛・向野広明・宮田充・橋口港・遠山肇・窪一・勝田靖
▼女子監督 屋形君子
▼女子 満田テル子・倉永スエ子・山下シズ子・島本カツ子・坂道和代・田上フジ子・松崎和子・松本アイ子



ボウリング

▼監督 鶴森祐樹
▼選手 堀田浩一・橋本謙治・竹本哲也・檜下国昭・橋本一美



グラウンド・ゴルフ

▼男子監督 池田正邦(選手兼)
▼男子選手 矢野明・山下平四郎・上村暎・田中重敏・西原次雄・宮崎敏・村元完・橋本七男
▼女子監督 坂口義人
▼女子 道木フミ・村中津根子・岩本清美・松下アヤ・本山洋子・絹笠ヨシ子・今嶋シユモ・大谷とも江

芦北町健康づくり推進計画 (健康増進計画・食育推進計画)

り組むための計画になっています。この「健康づくりの目標」を参考に普段の生活習慣を見直し、実践していきましょう。

2 休養・こころの健康

- 主な取り組み
 - ・子どもの頃から生活リズムを整えることの大切さを伝えます。
 - ・こころの健康の正しい情報を提供します。
- 健康づくりの目標
 - ・子どもの頃から規則正しい生活リズムを整えましょう。
 - ・からだの不調や悩み事は1人で悩まず、早めに相談しましょう。



4 アルコール対策

- 主な取り組み
 - ・アルコールの健康への害や適量、休肝日の普及啓発を行います。
- 健康づくりの目標
 - ・アルコールの適量を知りましょう。
 - ・週2日は休肝日をつくりましょう。



6 生活習慣病の発症予防

- 主な取り組み
 - ・生活習慣病の正しい知識の普及啓発と健診後の保健指導体制の充実を図ります。
- 健康づくりの目標
 - ・自分の体の状態を知るために毎年、特定健診や生活習慣病健診を受けましょう。
 - ・普段の生活習慣の見直しを行い、実践しましょう。



8 生活習慣病の重症化・合併症の予防

- 主な取り組み
 - ・脳血管疾患、腎不全などの重症化予防の普及啓発を行います。
- 健康づくりの目標
 - ・高血圧や糖尿病などの生活習慣病を発症し、治療を開始したら、放置、中断せずにより状態を保ちましょう。



保健センターだより

この計画は、芦北町における健康づくりの基本計画です。『元気で暮らせるまちづくりの推進』に向けて、町民の皆さんと行政が一体となって取

1 身体活動・運動の推進

- 主な取り組み
 - ・身体活動や運動の必要性、大切さと健康との関係について伝えます。
- 健康づくりの目標
 - ・普段の暮らしの中で活動量を増やし、できるだけ歩きましょう。



3 たばこ対策

- 主な取り組み
 - ・喫煙や受動喫煙による健康への影響について伝えます。
- 健康づくりの目標
 - ・たばこが体に与える害について知りましょう。

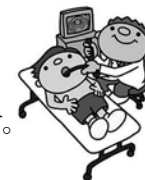
5 歯の健康づくり

- 主な取り組み
 - ・乳幼児の虫歯予防とフッ化物の利用を推進します。
 - ・正しいブラッシングの方法などの普及啓発を行います。
- 健康づくりの目標
 - ・かかりつけの歯科医をもち、定期的に歯と口の中のチェックを受けましょう。
 - ・食べたらず歯磨き習慣と子どもの仕上げ磨きをしましょう。また、フッ化物を利用して歯質を強くしましょう。



7 がんの予防

- 主な取り組み
 - ・がん検診の受診勧奨を行います。
 - ・要精密検査未受診者への受診勧奨を行います。
- 健康づくりの目標
 - ・がんの早期発見、早期治療のためにがん検診をもれなく受けましょう。
 - ・がん検診で紹介状をもらったら、早めに医療機関で再検査を受けましょう。



9 栄養・食生活（食育の推進） 【0～18歳】 ●主な取り組み ・子ども自身が食への関心を獲得できる機会を提供し、さらに食育を推進します。 ●健康づくりの目標 ・朝食を毎日食べましょう。 ・朝食を毎日食べましょう。 ・好き嫌いせず何でも食べましょう。	【19～64歳】 ●主な取り組み ・生活習慣病予防のための適正な食事量、食習慣について伝えます。 ●健康づくりの目標 ・朝食を毎日食べましょう。 ・自分の適正体重を知り、何をどれ位食べたらいいか知りましょう。 ・野菜の摂取量を増やしましょう。	【65歳以上】 ●主な取り組み ・バランスの取れた食べ方、食事量について伝えます。 ・地域の食文化を次の世代に伝える機会を作ります。 ●健康づくりの目標 ・バランスのよい食事をしましょう。 ・地域の食文化を伝えましょう。
--	---	--

芦北に残る文化遺産

⑮ 市野瀬棒踊り

(芦北町指定無形民俗文化財
昭和62年12月25日指定)



▲棒を激しく打ち合わせる力強い踊りです

ご先祖様をお迎えするお盆の時期には、伝統行事が各地区で行われています。今回紹介する「市野瀬棒踊り」もその一つです。棒踊りとは、唄に合わせて激しく棒を打ち合わせる踊りで、鹿児島県を中心に九州南部に多く伝承されている伝統芸能です。農耕の合間に武芸のたしなみとして行われていたとも言われています。本町では、指定文化財となっているものだけで宮浦、内野、田浦、伏木氏、市野瀬地区にあり、それぞれ保存会が結成されています。市野瀬の棒踊りは、約150年前に水保

の頭石（かぐめいし）から指導者を招いて始まり、お盆の先祖供養、雨乞いなどの時に踊られていました。当時は一家の長男のみに継承され、地区外に漏れないようにされていました。第二次世界大戦後、若者の減少によりしばらく中断しましたが、昭和26年に復活し、その後18年間踊られていました。しかし、社会の変化の中でいつの間にか途絶えた状態となつてしまい、昭和61年、地区の有志の皆さんによって再度復活しました。踊りは5種類（殿・六人寄・長刀・鎌倉・新鎌倉）伝わっており、なぎなた・六尺棒・鎌を道具として、踊り手が18人、唄い手が3～4人で、4～6人1組で棒を打ち合いながら踊ります。披露されるのは8月15日で、初盆の家を中心に執り行われます。

過疎化や高齢化などで伝統芸能の継承は、ますます難しくなっています。しかし、郷土芸能は歴史を知り、ただでなく、地域に誇りと愛着、一体感をもたらすものです。このお盆の時期に、ご先祖様たちが伝えてくれた大切な郷土芸能をもう一度見つめ直してみましよう。

＊問い合わせ先
生涯学習課 文化振興係
☎（87）1171（内線145）

景さんの 芦北チヨアチヨア記

(第3回)

芦北町国際交流員
李充景（イ・ユンギョン）

アンニョンハセヨ！
みなさん、夏を楽しんでいますか。夏が大好きな私は、あちらこちら回りながら夏を楽しんでおります。その中でも芦北町で過ごしたお話をしてみたいと思います。夏といえば「海」。7月から始まった御立岬海水浴場の新マリ



▲バナナボートに乗る私（右から2番目）

レジャーを体験することができました。その中で最も楽しい思い出になったものは、バナナボートでした。スピードを出せば出すほど、スリルがあり楽しさもその分大きくなって思い切り楽しめました。こういうマリレジャーは夏しかできないことですから皆さんにもぜひお勧めしたいと思います！
そして、次に楽しんだことは、バーベキュー。町外から友達を呼んで御立岬公園のコテージに泊まり、バーベキューをやりました。みんなワイワイしながら美味しい焼肉を食べておしゃべりすることも楽しかったのですが、海に沈む夕日を眺めながらゆっくりしていると疲れがとれて癒される気分になりました。友だちからも「芦北町って本当に素敵な場所だね」と言われて、こちらに住んでいることに改めて誇りを持つことができました。

益々暑くなるこの夏、家でクーラーをつけて部屋で閉じこもっているより、芦北町の豊かな自然を楽しみながら、家族や友達とみんなで行ってみたいはいかがですか。

防災行政無線の試験放送

地震・津波やミサイル攻撃などの大規模災害時に、国からの緊急情報を全国瞬時警報システム(J-ALERT)を利用し、防災行政無線で伝達する訓練を次のとおり行います。

▼試験日 9月12日(水)
▼試験時間 午前10時

午前10時30分の2回

※J-ALERTとは、地震・津波などの災害時に国から送られてくる緊急情報を人工衛星などを活用して瞬時に情報伝達するシステムです。

*問い合わせ先

総務課 防災交通係

☎(82) 2511(内線218)

芦北地区交通安全協会

嘱託職員募集

▼受験資格 昭和57年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人

▼勤務内容 窓口業務

▼勤務場所 芦北警察署内

▼募集人員 1人

▼申込期間 8月20日(月)～24日(金)

※勤務条件や試験内容などはお問い合わせください。

*問い合わせ先

芦北地区交通安全協会事務局

(芦北警察署内)

☎(82) 3110(内線441)

危険物取扱者試験

試験の種類

・甲種危険物取扱者試験
・乙種危険物取扱者試験
(第1類から第6類)
・丙種危険物取扱者試験

▼試験日 11月4日(日)

▼試験場所 熊本市、八代市、天草市、玉名市

▼願書受付期間

9月6日(木)～9月18日(火)
午前9時～午後4時30分

*願書提出先・問い合わせ先
熊本市中央区九品寺1-11-4
県教育会館4階

財消防試験研究センター熊本県支部

☎096(364) 5005

甲種防火管理資格取得講習会

消防法第8条の規定により、多数の者が出入りし、勤務し、または居住する防火対象物は、防火管理者の選任が必要です。

▼日時 9月13日(木)・14日(金)

午前9時～午後4時

▼場所 水俣芦北広域行政事務組合消防本部2階講堂

▼受付期間 8月20日(月)～24日(金)

▼定員 50人(先着順)

▼受付場所 消防本部予防課

芦北消防署

▼講習料 4,600円
(テキスト代)
*問い合わせ先
水俣芦北広域行政事務組合消防本部
☎(63) 1191

県立農業大学学生募集

卒業時に農業課程専門士の称号が付与され、10種類以上の専門資格取得、4年制大学(3年次)への編入も可能です。なお、高等学校をすでに卒業している人でも、「一般入学者選抜」だけでなく、市町村長の推薦(地域推薦)による「推薦入学者選抜」も受験できます。

【推薦入学者選抜】

▼願書受付期間 9月4日(火)～14日(金)

▼選抜日 10月4日(木)

▼選抜方法 学力検査(国語総合、小論文含む)、面接、提出書類

▼選抜場所 熊本県立農業大学校

【一般入学者選抜】

▼願書受付期間 12月5日(水)～19日(水)

▼選抜日 1月24日(木)

▼選抜方法 学力検査(国語総合、数学I)、面接、提出書類

▼選抜場所 熊本県立農業大学校

◎募集定員

農学部(修業年限2年) 農産園芸学科・野菜学科・畜産学科 80人

◎受験料など

入学試験手数料 2,200円

入学料 5,650円
授業料 118,800円/年(予定)
*問い合わせ先
熊本県立農業大学校教務課
☎096(248) 1188

健康づくり応援店募集

▼募集対象 飲食店 弁当・総菜店など
▼募集要件 食事バランスガイドの表示、ヘルシーメニューの提供、ヘルシーオーダーの実施栄養成分表示の中から取り組む項目を選んで実施してください。

▼募集期限 10月31日(水)

*応募・問い合わせ先

水俣保健所

☎(63) 4104

高齢者のための

無料職業紹介

高齢者が生きがい高め、健康で明るい生活を過ごすことができるように永年培った知識と豊富な経験を生かし、就職できるような職場開拓と職業相談・紹介を行っています。

▼相談日 毎月第2・4火曜日

▼相談時間 午後1時～午後4時

▼相談場所 芦北地域振興局福祉課内

*問い合わせ先

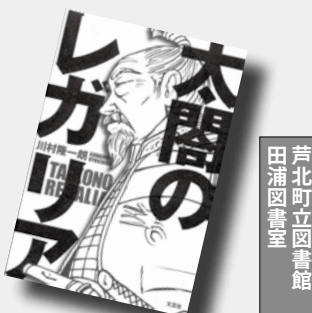
熊本県高齢者無料職業紹介所

芦北相談所

☎(82) 5310

おすすめ 図書紹介 BOOK

「太閤のレガリア」
川村 隆一朗 著(文芸社)



芦北町立図書館
田浦図書室

乱世終息のきっかけとなった安祥城、小豆坂の両合戦と豊臣秀吉の故郷に隠された秘密を新資料から掘り起こし、戦国ヒーローの実像を描く歴史大河です。

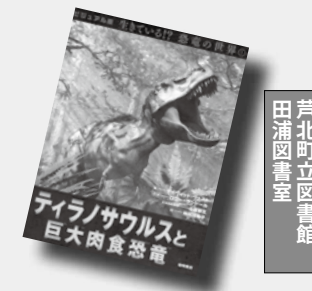
「だるまさんが」
かがくいひろし 著
(ブロンズ新社)



芦北町立図書館
田浦図書室

左右に動く、だるまさん。ページをめくると・・・あららびつくり!大笑い!
0歳の赤ちゃんから大人まで楽しめる、とびきりゆかいな「だるまさん」のおはなしです。

「ティラノサウルスと
巨大肉食恐竜」
ロニー・ランドール 著
(岩崎書店)



芦北町立図書館
田浦図書室

肉食恐竜や角竜、雷竜など、様々な恐竜の生きた様子をコンピューターグラフィックで描いた図鑑絵本シリーズです。

「改正労働者派遣法」説明会

熊本労働局では、本年10月から施行予定の「改正労働者派遣法」の説明会を派遣元・派遣先事業所などを対象として開催します。参加を希望する場合は、熊本労働局のホーム

田浦子育て支援センター 9月の行事

4日(火) 運動会総練習
8日(土) 運動会に参加しよう
10日(月)～14日(金) おじいちゃん・おばあちゃんへのプレゼント作り
18日(火) 御立岬へ出かけよう
25日(火) 身体測定・誕生会
※支援センターは未就園児と保護者なら誰でも利用できます。一時保育も行っています。
◆センター利用時間 毎週月曜日～金曜日
午前9時30分～正午 午後2時45分～午後5時15分
*問い合わせ先 田浦子育て支援センター
☎(87) 0034

自衛官募集

【一般曹候補生・自衛官候補生】

▼受付 9月7日(金)まで

▼試験日 9月17日(月)

▼試験会場 八代ハーモニーホール

▼受験資格 18歳以上27歳未満

▼定員 180人

【グランメッセ熊本】

▼日時 9月5日(水)午後1時30分

午後3時30分

▼定員 250人

*問い合わせ先

熊本労働局職業安定部

需給調整事業室

☎092(211) 1731

おれんじ鉄道×くまモン
絵日記大募集

くまモンの列車やおれんじ鉄道の車両と、みんなが大好きなくまモンを描いた夏休みの絵日記を募集します。絵と文章で絵日記にして、ご応募ください。全応募作品をおれんじ鉄道の列車内に展示します。

▼応募方法 ①絵日記には、おれんじ鉄道の車両とくまモンを必ず描き入れてください。②絵日記ですの

で文章も書き込んでください。

③専用の応募用紙で応募してください。応募用紙がない場合は、A3横サイズの紙に描いてもOKです。
④作品の裏面には、氏名、年齢、電話番号、学年、学校名を記入してください。
▼注意事項 ①列車内の展示については、学校名・学年・氏名を記載して掲示します ②応募いただいた作品は返却しません ③個人情報情報は作品展示とグッズプレゼントの発送のみに使用します

▼提出期限 9月15日(出)

▼提出先 おれんじ鉄道の「有人駅」(八代駅、日奈久温泉駅、佐敷駅、水俣駅)で駅係員に渡していただくか、事務局まで郵送してください。

*郵送・問い合わせ先

肥薩おれんじ鉄道沿線活性化協議会事務局(熊本県交通政策課内)

〒862-8570

熊本市中央区水前寺6-18-1

☎096(333) 2167

事件・事故は110番

芦北警察署

☎(82)3110

夏休み、誘惑や危険から子どもを守りましょう

夏休み期間中は、一部の子どもが開放感から夜遅くまで外を出歩いたり、万引きや自転車盗などの非行に走りやすい傾向にあります。



【問題行動】

- 行き先を告げずに外出する、帰りが遅くなる
- 買い与えてないものを持っている
- 言葉づかいが乱暴になる
- 片時も携帯電話を離さず、操作している

家庭は小さな社会です。家庭内の小さな約束を守ることが、規律意識を育てることになります。子どもを信じながら「もしかしたら自分の子どもが過ちを犯すかもしれない」という危機感を持ち、常に子どもと向き合う姿勢をつくりましょう。



【携帯電話のトラブル】

- 出会い系サイトで知り合った人から乱暴され、財布を奪い取られた
- ツイッターやフェイスブックなどで架空の少女に成り済ました人に裸の画像を送るように言われた
- 身に覚えのない料金を請求された

インターネット上に出会いを求める書き込みや、個人情報がかかる書き込みをするのは危険です。身に覚えのない請求メールが送付された場合は無視し、送信元への返信や問い合わせは危険なので行わないようにしましょう。



もし、お子さんが携帯電話のことで悩んでいたら、すぐに警察に相談してください。

火事と救急は119番

芦北消防署

☎(82)4731

災害に備えて準備しておきましょう

地震や台風、大雨などの自然災害が発生したとき、あなたはしっかりとした行動ができますか。

実際に被害に遭った人たちの多くは、「自分のところは大丈夫だろう」と思って避難していなかったそうです。昨年の東日本大震災でも、地震による津波警報が発令されているにもかかわらず避難せずに多くの犠牲者が出ました。

日頃から確認

災害は、いつ起こるかわかりません。身近で発生する災害と認識して、日頃から危険箇所、避難経路および避難場所をしっかりと把握しておき、自分の身を守るためにも率先して速やかに避難す



るようにしましょう。また、避難する時には慌てないように、貴重品や非常時持ち出しの準備もしておきましょう。

地域の協力

火災などでの逃げ遅れによって死亡する高齢者や子どもが多くいますので声をかけて避難を促すことや、一人で逃げられない人には地域の協力が必要です。みんなで助け合いながら犠牲者を出さないようにしましょう。



編集後記

暑い夏がやってきました。芦北が誇る西日本最大級の御立岬海水浴場や鶴ヶ浜海水浴場などは連日、多くの海水浴客で賑わいを見せています。若者や家族連れが皆さんと輝く眩しい太陽の下、波打ち際で水を掛け合っている微笑ましい光景を見ていると幸せな気分になります▼熱いと言えバロンドン五輪。連日、日本選手の活躍がテレビで映し出されています。そんな中、芦北町出身の藤井瑞希さんがバドミントン女子ダブルスで銀メダルを獲得しました。決勝戦は湯浦中の体育館で多くの町民が大型スクリーンを見ながら声援を送りました。惜しくも敗れましたが、最後まで諦めない姿に感動した町民も多かったことでしょう▼藤井さんは、パートナールの垣岩令佳さんとともに試合中、劣勢の時でも「とびつきりの笑顔」で声を掛け合っている2人が印象的でした。苦しい時でも笑顔を絶やさず、明るく頑張ることの大切さ、素晴らしさを教えてもらった夏となりました。(寺川)

書道 (かな)

【町民講座】



「松吹く風」
ひる山のまつふくかぜのおとすめり
あかるきみちを一人しあゆむ

松本 洋子

短歌

【紫おんの家短歌会】

苦瓜のカーテン風にゆらぎいて虫ら寄くる蜜は甘いか
つぎつぎに家電製品これれゆき次は自分と怖れいる老母
洗濯機に入れし蒲団が乾かずに反省しきり梅雨くらき日々
久しぶり梅雨の晴間のふとん干し私も日干しで細くなりたい
鉢巻をしめてバチ持ち全身で太鼓をたたく五歳の孫は
山下 早苗
宮崎 和子
山元 初代
佐々木 範子

【田浦短歌会】

朝刊の配達終えきしジャンバーのポケットより落つ硬貨わびしむ
ハーモニカで幼の奏する「おてもやん」顔見合わせて思わず笑う
還暦に宮城より来たる友の手を取り合い無事をみなで喜ぶ
わが部屋の窓にはりつく雨蛙朝より昼へそして夕べに
何処より入りきしものか灯を消しし部屋に二匹の蛍が舞えり
本郷たもる
山下 忠子
溝口 陵子
石山 澄子
岡松 克博

お誕生おめでとう

H24.7.1～7.31 受付分 (敬称略) 受付件数 10 件

氏名	出生日	性別	保護者	区
田代 彩夏	6.28	女	雅志	花岡北
藤井 あおい	6.29	女	武史	湯浦南
谷脇 志穂	7.2	男	健太郎	小田浦3
千年 凜来	7.4	男	潤一	市野瀬
上野 明歩	7.10	女	寛道	海浦1
岡本 龍	7.16	男	潤	海浦2
山下 惺也	7.19	男	博章	本町
高本 心美	7.23	女	成彦	花岡北

※本町窓口に出出をした人で、承諾を得た人を掲載しています。
町外に提出した人で、掲載を希望する場合は、役場総務課秘書広報係までご連絡ください。

ご冥福をお祈りします

H24.7.1～7.31 受付分 (敬称略) 受付件数 23 件

氏名	死亡日	年齢	区
向大野 安	7.1	67	宮浦
白坂 スミエ	7.1	85	大野
園田 清二	7.5	60	小田浦4
井樋口 輝夫	7.7	83	道川内西
松田 イズ子	7.10	92	大川内南
早稲田 千秋	7.10	47	田浦1
松永 ツギエ	7.11	82	簀瀬
川口 正雄	7.12	87	米田
塩永 ナセ	7.14	88	塩浸
神門 マセ	7.15	107	田浦町3
平野 シズモ	7.16	97	小田浦2
荒川 港	7.19	79	大川内東
本村 ハル	7.21	85	市居原
高田 沙織	7.23	35	花岡北
平井 正則	7.24	79	道川内東
坂橋 勝美	7.25	85	市野瀬
今村 明義	7.26	90	井牟田2
淵上 サツキ	7.28	86	内木場
木村 茂俊	7.29	76	大川内西
川元 國男	7.29	78	田浦4
森本 正人	7.30	91	芦北

※本町窓口に出出をした人で、掲載の承諾を得た人を掲載しています。

人口の動き (H24.8.1 現在) ()内は前月比

人口	19,640人	(+30)
男	9,171人	(+6)
女	10,469人	(+24)
65歳以上	7,069人	(+9)
世帯数	7,581世帯	(+5)

第十五回 佐敷城跡

観月令

喜多流喜秀会「薪能」公演



日時／平成24年9月28日(金)

18:00～ 古武道演武
(葦北鉄砲隊・芦北太鼓・タイ捨流剣術)

18:40～ 開式行事

19:00～ 薪能(狂言みのる会、喜多流喜秀会)
【演目】狂言「清水」、能「花月」

場所／佐敷城跡二の丸広場
(雨天時…しろやмасカイドーム)

主催／芦北町

入場料／前売り券…1,500円

当日券……2,000円(中学生以下無料)

【お問合わせ先】

芦北町教育委員会 生涯学習課
(TEL 0966-87-1171 内線145)

【チケット販売所】

芦北町役場(本庁舎1階商工観光課・大野出張所・吉尾出張所)
芦北町教育委員会生涯学習課(田浦基幹支所内)
芦北町社会教育センター、しろやмасカイドーム、
芦北町営温泉プール

◆短歌・俳句を募集します

応募用紙を会場に準備します。優秀作品は、後日
広報紙に掲載し、賞品を進呈します。



薩摩街道ふるさと湯の香ざらりー
湯浦活性化協議会が湯浦地区に展示している
町民の皆さんが製作した作品を紹介します。

*問い合わせ先
星野富弘美術館
☎ (86) 1600

◆心にしみる草花展
○期間 9月9日(日)まで
○休館日 第2・4月曜日
※8月13日は臨時開館
○開館時間 午前9時～午後5時



▲「盛夏」1987年

芦北町立星野富弘美術館だより
海や山、たくさん遊んで熱くなった後は、
ちよつと涼みに美術館にお越しください。夏休
みの自由研究や課題など、ヒントがあるかも。